

新宿泥棒日記 (1969)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 日本

色彩 Color

時間 97分

初公開日 1969/02/15

公開情報 A T G

【解説】

大島渚が脚本・監督・編集を手がけたドキュメンタリータッチの異色作。脚本は大島の他、田村孟、佐々木守、足立正生が共同で執筆した。俳優や学者、演出家、会社社長などが実名で登場。

新宿の紀伊國屋書店で、ひとりの学生が万引きでつかまった。店員のウメ子は犯人の鳥男を田辺茂一社長の前に突き出すが、社長は鳥男を許すばかりか金まで与えた。鳥男と関係を持ったウメ子は、むなしさからスナックで大暴れしてしまう。留置場に迎えに来た田辺社長に連れられ、鳥男とウメ子は性科学権威の高橋鉄や俳優の佐藤慶、渡辺文雄、戸浦六宏に次々と会った。鳥男は唐十郎の状況劇場を訪れ「別の人間にしてくれ」と頼むのだった。

【クレジット】

監督 大島渚 Nagisa Oshima

製作 中島正幸

脚本 田村孟

佐々木守

足立正生

大島渚 Nagisa Oshima

撮影 吉岡康弘

仙元誠三

美術 戸田重昌

編集 大島渚 Nagisa Oshima

出演 横尾忠則

横山リエ

田辺茂一 特別出演

高橋鐵 特別出演

佐藤慶 特別出演

渡辺文雄 特別出演

戸浦六宏 特別出演

唐十郎 特別出演

磨赤兒 特別出演

大久保鷹 特別出演

四谷シモン Yotsuya Simon 特別出演

不破万作 特別出演

九頭登 特別出演

藤原マキ 特別出演

